ROBO CYLINDER

ロボシリンダ
RCP2Wアクチュエータ
スライダ防塵・防滴タイプ

［RCP2W-SA16C］

取扱説明書
第2版

IAI
Quality and Innovation

株式会社アイエイアイ

安全上のご注意（ご使用の前に必ずお読みください）

本製品の取付け、運転、保守、点検の前に、この取扱説明書と本製品に接続されるすべての機器および周辺装置の取扱説明書および関連書類をすべて熟読し、正しくお使いください。また、これらの作業は、機器や安全に関する十分な知識を持った方によって行ってください。以下に示す注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、人体への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。

この取扱説明書では、安全注意事項を「危険」「警告」「注意」「お願い」にランク分けしています。

⚠ 危　険	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る危険が差し迫って生じると想定される内容です。
⚠ 警　告	取扱いを誤ると、死亡または重傷に至る可能性が想定される内容です。
⚠ 注　意	取扱いを誤ると、傷害または物的損害の可能性が想定される内容です。
ⓘ お願い	傷害の可能性はないが、当該製品を適切に使用するために守っていただきたい内容です。

なお、⚠注　意 や ⓘお願い であっても、状況によっては重大な結果を招く可能性があります。
いずれも重要な内容を記載しています。ご熟読の上、十分に注意してお取扱いください。
また、本取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出して読めるよう大切に保管するとともに、必ず最終ユーザ様まで、お届けいただきますようお願いいたします。

⚠ 危　険

全　般

●下記の用途に使用しないでください。
　1．人命および身体の維持、管理等に関わる医療器具
　2．人の移動や搬送を目的とする機構、機械装置
　3．機械装置の重要保安部品
　当該製品は高度な安全性を必要とする用途に向けて企画、設計されていません。人命を保証しません。
　また、保証の範囲は納入する当該製品だけです。

設　置

●発火物、引火物、爆発物等の危険物が存在する場所では使用しないでください。発火、引火、爆発の可能性があります。
●製品を取り付ける際には、必ず確実な保持、固定（ワークを含む）を行なってください。製品の転倒、落下、異常作動等によって、ケガをする可能性があります。

●製品のケーブルの長さを延長または短縮するために、ケーブルの切断再接続は絶対に行わないでください。火災の可能性があります。

運　転

●製品の作動中または作動できる状態のときは、機械の作動範囲に立ち入らないでください。アクチュエータが不意に動くなどして、ケガをする可能性があります。
●ペースメーカー等を使用している方は、製品から１メートル以内に近づかないでください。製品内の強力なマグネットの磁気により、ペースメ―カーが誤作動を起こす可能性があります。

保守、点検、修理

●製品は絶対に改造しないでください。異常作動によるケガ、感電、火災等の原因になります。
●製品の基本構造や性能・機能に関わる不適切な分解組立は行わないでください。ケガ、感電、火災などの原因になります。

⚠ 警　告

全　般

●製品の仕様範囲外では使用しないでください。仕様範囲外で使用されますと、製品の故障、機能停止や破損の原因となります。また、著しい寿命の低下を招きます。特に、最大積載重量や最大速度は守ってください。

設　置

●非常停止、停電などシステムの異常時に、機械が停止する場合、装置の破損・人身事故などが発生しないよう、安全回路あるいは装置の設計をしてください。
●アクチュエータ、コントローラは必ず、Ｄ種接地工事（旧第３種接地工事、接地抵抗100Ω以下）をしてください。漏電した場合、感電や誤作動の可能性があります。
●製品に電気を供給する前および作動させる前には、必ず機器の作動範囲の安全確認を行ってください。不用意に電気を供給すると、感電したり、可動部との接触によりケガをする可能性があります。
●製品の配線は「取扱説明書」で確認しながら誤配線がないように行ってください。ケーブル、コネクターの接続は抜け、ゆるみのないように確実に行ってください。製品の異常作動、火災の原因になります。

運　転

●製品の可動部を手で動かすとき（手動位置合わせなど）はサーボオフ（テイーチングボックス使用で）していることを確認してから行ってください。ケガの原因になります。
●ケーブルは屈曲性の優れたものを使用しておりますが、ロボットケーブルではありません。規定以下の半径の可動配線ダクト（ケーブルベアなど）に収納しないでください。
●ケーブルは傷をつけないでください。ケーブルに傷をつけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、巻き付けたり、重いものを載せたり、挟み込んだりすると、漏電や導通不良による火災や感電、異常作動等の原因になります。
●停電したときは電源を切ってください。停電復旧時に製品が突然動き出しケガ、製品の破損の原因になります。
●製品に異常な発熱、発煙、異臭が生じた場合は、ただちに電源を切ってください。このまま使用すると製品の破損や火災の可能性があります。
●異音が発生したり振動が異常に高くなった場合は、ただちに運転を停止してください。このまま使用すると製品の破損、損傷による異常作動、暴走等の原因になります。

●製品の保護装置（アラーム）がはたらいた場合は、ただちに電源を切ってください。製品の異常作動によるケガ、製品の破損、損傷の可能性があります。電源を切った後、原因を調べ、その原因を取り除き、電源を再投入してください。
●製品の上に乗ったり、足場にしたり、物を置かないでください。転倒事故、製品の転倒、落下によるケガ、製品の破損、損傷による誤作動、暴走等の原因となります。

保守、点検、修理

●製品に関わる保守点検、整備または交換などの各種作業は、必ず電気の供給を完全に遮断してから行ってください。なお、この時下記の事項を守ってください。
　1．作業中、第三者が不用意に電源を入れないよう「作業中、電源投入禁止」などの表示を見やすい場所に掲げてください。
　2．複数の作業者が保守点検を行う場合は、電源の入り切り軸の移動は必ず声をかけて安全を確認して行ってください。

廃　棄

●製品は火中に投じないでください。製品が破裂したり、有毒ガスが発生する可能性があります。

⚠ 注　意

設　置

●有機溶剤、リン酸エステル系作動油等が含まれている雰囲気中で、使用しないでください。短期間で機能が喪失したり、急激な性能低下もしくは寿命の低下を招きます。
●腐食ガス（硫酸や塩酸など）の雰囲気で使用しないでください。錆の発生による強度の劣化の可能性があります。
●下記の場所で使用する際は、遮蔽対策を十分行ってください。措置しない場合は、誤作動を起こす可能性があります。
　1．大電流や高磁界が発生している場所　　3．静電気などによるノイズが発生する場所
　2．溶接作業などアーク放電の生じる場所　　4．放射能に被爆する可能性がある場所
●大きな振動や衝撃が伝わる場所（4.9m／S^2以上）に設置しないでください。大きな振動や衝撃が伝わると誤作動を起こす可能性があります。
●運転中になにか危険なことがあったとき直ぐ非常停止が掛けられる位置に非常停止装置を設けてください。ケガの原因になります。
●製品の取り付けには、保守作業のスペース確保をお願いします。スペースが確保されないと日常点検や、メンテナンスなどができなくなり装置の停止や製品の破損につながります。
●製品の運搬、取付時は、リフトや支持具で確実に支えたり、複数の人により行うなど、人身の安全を確保して十分に注意して行ってください。
●設置のとき、製品の可動部、ケーブルを持たないでください。ケガの原因になります。
●アクチュエータ、コントローラ間のケーブルは、必ず弊社の純正部品を使用してください。なお、アクチュエータ、コントローラ、テイーチングボックスなど各構成部品は弊社の純正部品の組合せで使用してください。
●据付・調整等の作業を行う場合は、不意に電源などが入らぬよう「作業中、電源投入禁止」などの表示をしてください。不意に電源等が入ると感電や突然のアクチュエータの作動によりケガをする可能性があります。

運　転

●電源を投入するときは上位の機器から順に投入してください。製品が急に起動し、ケガ、製品破損の原因になります。

●製品の開口部に指や物を入れないでください。火災、感電、ケガの原因になります。
●製品の１メートル以内にフロッピーディスクおよび磁気媒体等を近づけないでください。マグネットの磁気によりフロッピーディスク内のデータが破壊される可能性があります。
●製品の上に乗ったり、足場にしたり、物をおくことによる駆動部分への傷、打痕、変形を与えないでください。製品の破損、損傷による作動停止や性能低下の原因になります。

保守、点検、修理

●アクチュエータのグリースを塗布するときは保護メガネを使用してください。グリースが飛び目に入ると目の炎症をおこします。

⚠ 使用上の注意

●押し付け動作は、脱調の原因になりますので絶対に行わないでください。
●垂直設置、横立て設置での使用はできません。

ⓘ お願い

設　置

●機械装置等の作動部分は、人体が直接触れることがないよう防護カバー等で隔離してください。
●テーブルの直進精度を上げ、ボールネジおよびリニアガイドの滑らかな運動を確保するために、下記の事項に注意してください。
　１．本体の取付面は平面度0.05㎜以内に仕上げてください。
　２．アクチュエータの剛性を得るために、設置取付面を十分とってください。

設置・運転・保守

●製品を扱う場合は、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、安全靴等を着用して安全を確保してください。

保守、点検、修理

●グリース補給の際は指定のグリースを使用してください。特に、フッ素系グリースと、リチウム系グリースが混ざると潤滑不良や抵抗増大等により機械に損傷を与える場合があります。

廃　棄

●製品が使用不能、または不要になった場合は、産業廃棄物として適切な廃棄処置を行ってください。

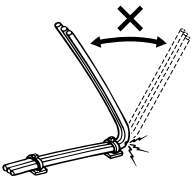
その他

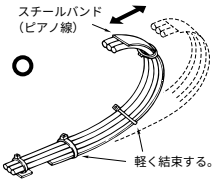
■「安全上のご注意」全般についてお守りいただけない場合は、弊社は一切の責任を負えません。

ケーブル処理における禁止・注意事項

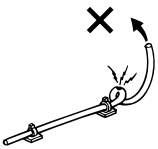
アクチュエータ、コントローラを使用してアプリケーション・システムを作り上げる場合、各ケーブルの引回しや接続が正しく行われないと、ケーブルの断線や接触不良等の思わぬトラブル発生につながり、ひいては暴走を引き起こす事にもなりかねません。ここでは、ケーブル処理方法に関する禁止事項について説明しますので、内容をよくお読みいただき確実なケーブル接続を行なってください。

1. 1ヶ所に屈曲動作が集中しないようにしましょう。

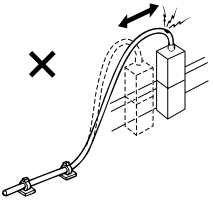




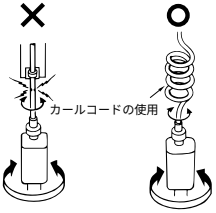
2. ケーブルには折り目、ヨジレ、ネジレをつけないようにしましょう。



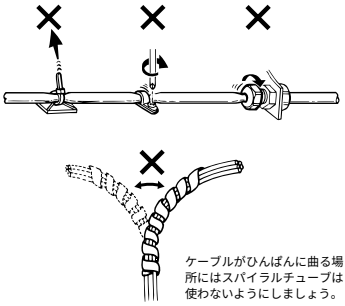
3. 強い力で引っ張らないようにしましょう。



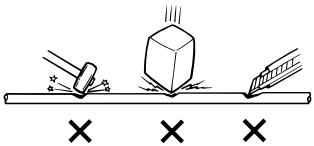
4. ケーブルの一ヶ所に回転が加わらないようにしましょう。



5. ケーブルの固定は適度にし、締めすぎないようにしましょう。



6. はさみ込み、打ちキズ、切りキズを付けないようにしましょう。



目　次

1. はじめに 1
2. 安全上の注意 ⚠ 1
3. 保証 2
4. 各部の名称.....3
5. 運搬、取扱い 4
    5.1　梱包状態での取扱い.....4
    5.2　梱包から出した状態での取扱い.....4
6. 設置環境、保存環境 5
    6.1　設置環境.....5
    6.2　保管環境.....5
7. 据付け.....6
    7.1　本体の据え付け.....6
    7.2　据え付け面 7
    7.3　搬送物のスライダへの取付.....8
8. コントローラとの接続.....9
9. 使用上のご注意 10
    9.1　動作条件および設置状態の制限.....10
    9.2　精度に関して 10
    9.3　デューティに関して.....10
    9.4　モーメント荷重に関して 10
    9.5　防滴性能に関して 11
    9.6　防塵性能に関して 11
    9.7　脱調に関して 11
    9.8　フィルタに関して 12
10. 保守点検 13
    10.1　点検項目と点検時期.....13
    10.2　目視検査.....13
    10.3　グリース補給 14
付録・原点マークの使い方 15

1. はじめに

お買い上げいただき誠にありがとうございます。
本アクチュエータは、マグネットカップリングという新しい機構を用い、ボールネジナットとスライダを磁気力で結合して推力を伝達する方式により、ボールネジ部の完全密閉を可能にしており、高い防塵・防滴性能を確保したアクチュエータとなっています。

⚠ 注意：・構造上の制限により、押し付け動作は脱腸の原因となります。絶対に行わないでください。
・運搬時、保管時は、水平でお取り扱いください。（詳細は、4ページ参照）
・取付け姿勢は水平設置を原則とします。垂直設置は行わないでください。（詳細は、6ページ参照）

本取扱説明書は、アクチュエータの正しい取扱い方や構造・保守等について解説したものです。
お使いになる前に、必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお取扱いくださいますよう、お願い申し上げます。本書は大切に保管し、必要に応じて適当な項目をご再読願います。
尚、作動に関しては、コントローラの取扱説明書も併せて充分にお読みください。

2. 安全上の注意

2.1 基本的な取扱い

・本取扱説明書及びコントローラ取扱説明書に記していない取扱い及び操作等に関しては、できないものと考え行わないでください。
・アクチュエータ、コントローラ間の配線は、必ず、弊社純正品をお使いください。
・機械が作動中の状態または電源が投入されている時は、機械の作動範囲に人が立ち入ることは危険を伴う恐れがありますので、絶対に避けてください。

2.2 保守点検作業

・保守点検作業は、必ず、コントローラの電源を遮断して行ってください。
・点検作業中に第三者が不用意に電源を入れないよう、充分配慮してください。
・作業中はその旨を明記したプレート等を見やすい場所に表示してください。
・複数の作業者が保守点検を行う場合は、互いの安全を確認して作業を進めてください。
特に電源の入切や、軸移動を伴う作業は必ず声を出し、安全を確認して行ってください。

⚠ 注意：・本書の内容は、改良、改善の為、将来予告なしに変更する事があります。

3. 保証

3.1 保証期間

保証期間は以下のいずれか先に達した期間と致します。

- 弊社出荷後18ヶ月。
- ご指定場所に納入後12ヶ月。
- 稼働2500時間。

3.2 保証範囲

上記期間中に製造者の責任により故障を生じた場合は、無料で修理を行います。但し、次に該当する事項に関しては、保証範囲から除外されます。

・塗装の自然退色等、経時変化
・消耗部品の使用による損耗
・機能上に影響のない発生音等、感覚的現象
・使用者側の不適当な取扱い、並びに保守点検の不備
・弊社または弊社代理店以外の改造
・弊社以外のコントローラを用いた事が原因で起きた故障
・天災、事故、火災等による場合。

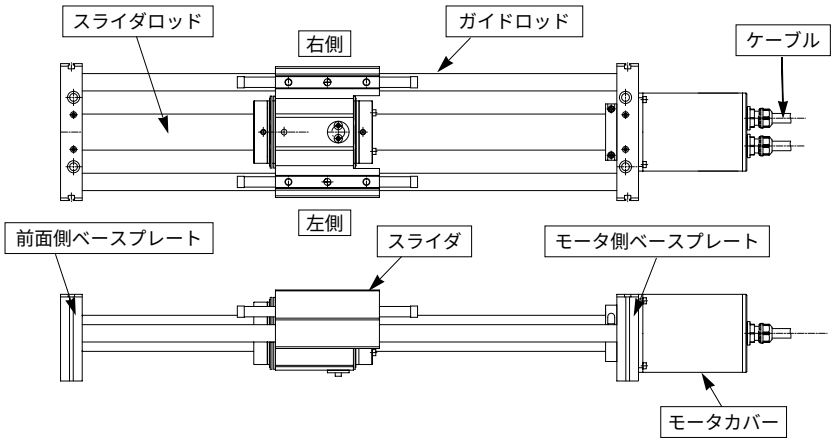
尚、保証は納入品単体の保証とし、納入品の故障により誘発される損害はご容赦願います。
修理は工場持ち込みによるものと致します。
技術者派遣は保証期間内であっても別途費用を申し受けさせていただきます。

4. 各部の名称

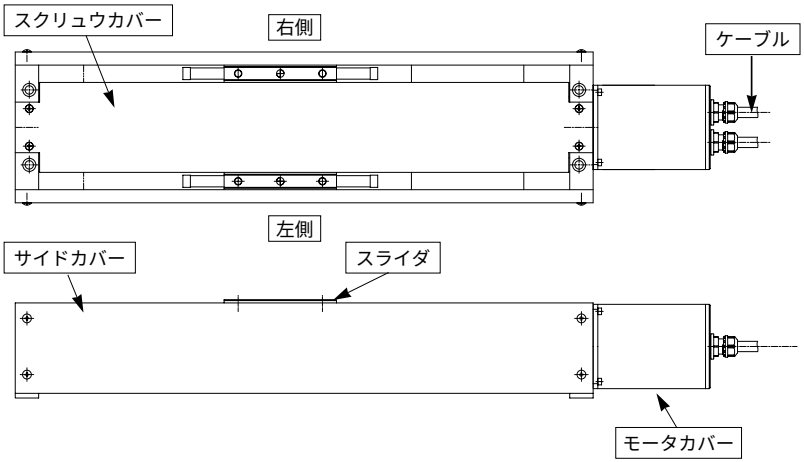
アクチュエータ各部の名称を次に示します。

本説明書ではアクチュエータを水平に置いた状態で上面かつモータ側からアクチュエータを見て左右を表します。また前面とは反モータ側を意味します。

●標準タイプ



●カバー付タイプ

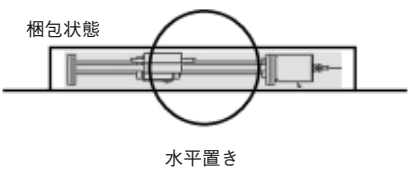


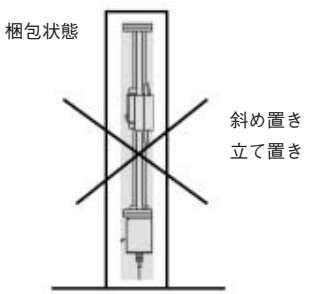
5. 運搬、取扱い

5.1 梱包状態での取扱い

特にご指定がない場合、出荷は単軸の場合は各軸毎に梱包しております。極力ぶつけたり落下せぬよう運搬取扱いには充分な配慮をお願い致します。

・重い梱包は作業者単独では持ち運ばないでください。
・梱包状態での保管、トラックの運搬を行う場合は、水平に置いてください。
斜めに置いたり、立てたりして、モータが下側になる状態で置かれた場合、パイプ内部に注入しているメカニックオイルが漏れ出し故障の原因となる場合があります。
開梱後、据付けまでの間も同様です。





・梱包の上に乗らないでください。
・梱包が変形するような重い物、あるいは荷重の集中する品物を乗せないでください。

5.2 梱包から出した状態での取扱い

アクチュエータを梱包から出して取り扱う時はベースプレート部分を持ってください。

・持ち運びの際、ぶつけたりせぬ様注意ください。
・アクチュエータの各部に無理な力を加えないでください。
・開梱の際に落として怪我をしたり、機械を傷めないよう、十分注意してください。

補足）アクチュエータ各部の名称は「4. 各部名称」を参照ください

6. 設置環境、保存環境

6.1 設置環境

設置にあたっては次の条件を満たす環境としてください。

- 直射日光があたらないこと。
- 熱処理炉等、大きな熱源からの輻射熱が機械本体に加わらないこと。
- 周囲温度は0～40℃。
- 腐食性ガス、可燃性ガス、可燃性粉塵、引火性液体等の雰囲気でないこと。
- 衝撃や0.3Gを越える振動が伝わらないこと。
- 甚だしい電磁波、紫外線、放射線がないこと。
- 教示、保守点検作業が安全に行えるスペースがあること。
- 液体に没する場所のないこと。
- 切削油での雰囲気でないこと。
- イオウ含有の切削液・研削液等のミスト雰囲気でないこと。

※水以外に対する防滴性に関しては弊社にお問い合わせください。

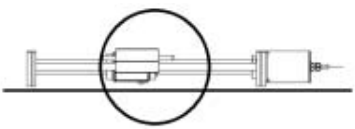
6.2 保管環境

保管環境は設置環境に準じますが、長期保管では特に結露の発生がないよう配慮ください。
特にご指定のない限り、出荷時に水分吸収剤は同梱してありません。結露が予想される環境での保管の場合、梱包の外側から全体を、あるいは開梱して直接、結露防止処置を施してください。
保管温度は短期間なら60℃まで耐えますが、1カ月以上の保管の場合は50℃までとしてください。

7. 据付け

7.1 本体の据え付け

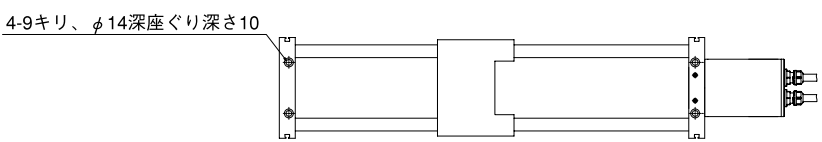
本アクチュエータの設置は、水平設置を原則としてください。斜めまたは、垂直姿勢で設置し、モータが下側になる取付けは、行わないでください。パイプ内部に注入しているメカニックオイルが漏れ出し故障の原因となる場合があります。



水平平置き

斜め姿勢置き
垂直姿勢置き

アクチュエータ両端のベースプレートには取付用の貫通穴が設けてあります。据え付けにはこの貫通穴をご利用ください。



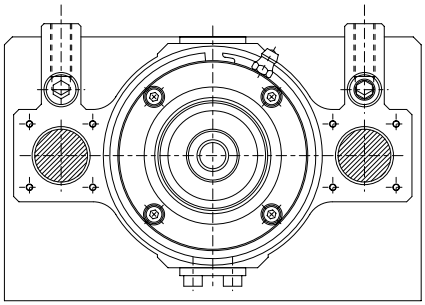
取付ボルトは、架台側材質により下表の六角穴付ボルトを使用してください。

架台側材質が鋼の場合	架台側材質がアルミの場合
M8×100	M8×110

使用ボルトはISO-10.9以上の高強度ボルトを推奨します。
また、推奨締付けトルクは、14N・m（1.43kgf・m）です。

7.2 据え付け面

・架台は充分な剛性を有する構造とし、振動発生を避けてください。
・アクチュエータ取付け面は機械加工、又はそれに準じた精度を持つ平面とし、その平面度は 0.05mm 以内としてください。
・保守作業が出来るようなスペースを設けてください。



⚠ 注意：ベース基準面がありませんので、走行精度を必要とする使用方法はなさらないようお願いいたします。

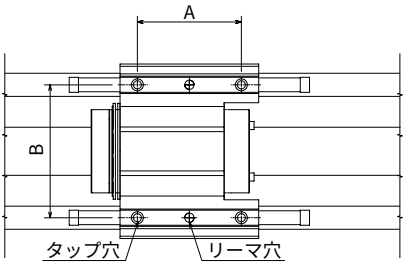
7.3　搬送物のスライダへの取付

・スライダにはタップ穴が設けてありますので、ここに搬送物を固定してください。

・スライダにはリーマ穴が2ヶ所あいていますので、取り付け、取り外し時の再現性を必要とされる場合にはこのリーマ穴を利用してください。また直角度などの微調整を必要とされる場合にはスライダのリーマ穴1ヶ所を用いて調整してください。

スライダータップ穴径とリーマ径

タップ径	タップ深さ	A	B
M8	20mm	90mm	115mm



8. コントローラとの接続

アクチュエータ本体に2mの付属ケーブルを取付けて出荷しております。付属ケーブル端のコネクタを中継ケーブルを介してコントローラと接続します。

・屈曲疲労性に優れたケーブルを使用しておりますが、ロボットケーブルではありません。
　小半径の可動配線ダクトに収容することは避けてください。
・ケーブルが固定できない用途では自重で撓む範囲での使用か、自立型ケーブルホース等、大半径の配線とし、ケーブルへの負荷が少なくなるよう配慮ください。
・ケーブルを切断して延長したり、短縮、あるいは再結合しないでください。

ケーブルの変更をご希望の場合には弊社までご相談ください。

9. 使用上のご注意

9.1 動作条件および設置状態の制限

●押し付け動作は、脱調の原因になりますので絶対に行なわないでください。
●水平設置状態で使用願います。垂直設置、横立て設置では使用できません。

9.2 精度に関して

構造上パイプとスライダー部分がウェアリングを介して摺動し、磁気による結合方式であるため一般的なボールネジ等を用いたアクチュエータに比べてヒシテリシスが非常に大きくなる傾向にあります。
使用にあたっては、その特性を十分考慮して適切に使用してください。
特に異方向からの位置決めで使用する場合には、ロストモーションの値を考慮して使用する必要があります。
・繰返し位置決め精度：±0.08mm以内
・ロストモーション　：0.5mm以下

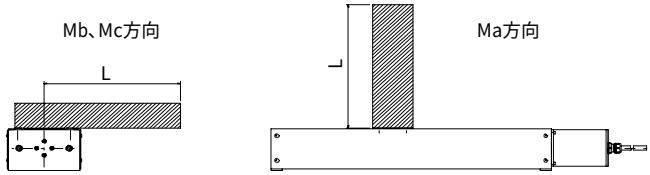
9.3 デューティに関して

連続運転ではウェアリングとパイプとの摺動により摩擦熱が発生します。
パイプの温度上昇によりウェアリングとの隙間の減少および寿命の低下等が発生しますので、デューティ50%以内で使用してください。

デューティ（%）＝運転時間／（運転時間＋停止時間）×100

9.4 モーメント荷重に関して

ガイドには特殊樹脂製の滑りブッシュを使用しています。
そのため、モーメント荷重が働くとコジレ、振動の原因や摺動抵抗の増大によりガイド寿命や搬送重量の低下、速度の低下等の悪影響を及ぼすことがあります。
基本的に、動作時にはMb、Mc方向にモーメント荷重が働かないような状態で、かつスライダー上に荷重が等分布になるように使用してください。



・許容張り出し長：200mm（Ma方向のみ）
・静的許容モーメント：20.4N・m

9.5　防滴性能に関して

本アクチュエータは保護等級IP67相当をクリアしていますが、以下の制限があります。
また、アクチュエータ付属ケーブルと中継ケーブルとの接続部分は防滴性能を有していませんので、水が掛からないような処置をしてください。

・水以外の液体が飛散する環境では事前にご相談ください
・粘着性の液体が飛散する環境では使用不可
・水中では使用不可
　水洗い等に耐えられる構造としていますが、水中への浸漬は滑りブッシュの膨潤等、悪影響を与えますので使用できません。

9.6　防塵性能に関して

モータ、エンコーダ等の電気部分は完全に塵埃の侵入を防いでいますが、稼動部等においては（パイプとスライダーの摺動部）、その隙間をフェルトシールで保護しています。
状況によっては、パイプとスライダー内部に塵埃が侵入したり、シール内部に入り込むことがあります。
塵埃の種類、状態によってはアクチュエータに悪影響や損傷を与える場合がありますので、下記に示すような環境下では使用できません。

・磁性体を含む塵埃が飛散、浮遊する環境
・研磨剤や同等の機能を持つ塵埃が飛散、浮遊する環境

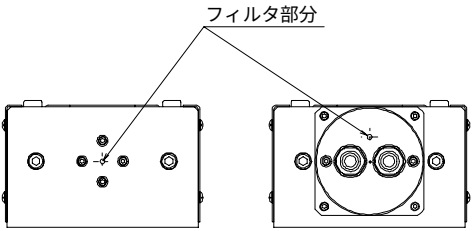
9.7　脱調に関して

ボールネジナットとスライダーはパイプ部材を介して磁気力により吸着結合されていますので、過大な力が加わると磁気結合が脱調し、ボールネジとスライダー部との結合が外れてしまいアクチュエータの機能を果せなくなります。
ハンマーで叩く等、スライダに過大な力を加えないようにお願いいたします。

9.8　フィルタに関して

本アクチュエータは、ボールネジ及びモータ部分がパイプおよびケース内に密閉されており水や埃の浸入を防いでいますが、内外気との圧力差や内部の結露等を防止する為にゴアテックス製のフィルタがモータケース及びパイプ端面に装着されています。

この部分に直接高圧に水をかけたり、鋭利なもので突いたりするとフィルタが剥がれたり、穴が空いたりし防滴性能を保てなくなりますので注意してください。



10. 保守点検

10.1 点検項目と点検時期

次に示された期間で保守点検を行なってください。
稼動状況は１日８時間の場合です。昼夜連続運転等、稼働率の高い場合は状況に応じて点検時期を短縮してください。

	目視検査	グリース補給
始業点検	○	○※
稼動後１ヶ月	○	○
以後１ヶ月毎	○	○

※蒸気や温水がかかるような環境では、グリースの早期消耗が考えられます。
　このような場合には、早めのグリース補給を推奨します。

10.2 目視検査

目視検査では次の項目を確認してください。

本体	本体取付ボルト等の緩み
スライダロッド部	食品グリースの潤滑状態、パイプ表面の傷、変形
ガイドロッド部	パイプ表面の傷、変形
付属ケーブル	傷の有無、コネクタ部の接続状態
総合	異音、振動

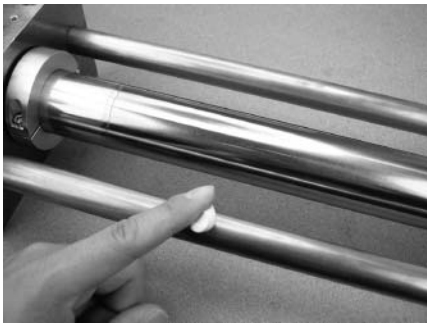
10.3　グリース補給

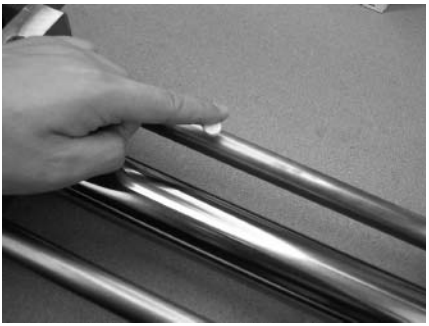
パイプ部材とスライダ部材はウェアリングを介して摺動しているため、ウェアリングの寿命向上とパイプの温度上昇抑制のために食品グリースによって潤滑されています。
このグリースは抗菌剤の配合によりバクテリアやカビの発生を防止するとともに、強い粘着力により高圧水にも押し出されにくいグリースですが、長期使用や、水洗い等によりグリースが消耗していきますので、点検時に必要に応じてグリースを塗布してください。
また、長期停止した場合は、稼動する前にグリースを塗布してください。

使用グリース　　メーカー：大洋液化ガス（株）　　型式：メダリオンFM1（抗菌グリース）

［グリース補給方法］
カバー付の場合は、スクリュウカバーを外します。
スライダロッド部表面を清掃した後に手でグリースを万遍なく塗布します。
スライダ部の塗布できない箇所は、一旦電源投入してスライダを移動させた後、再度電源遮断してから塗布してください。

同様に両側のガイド部にもグリースを塗布します。





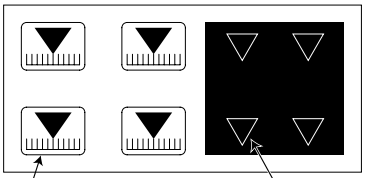
付　録

原点マークの使い方

◆ 本マークは、必要に応じてアクチュエータの原点方向の目印等として製品に貼付してご活用ください。

シール内容

原点マークシール



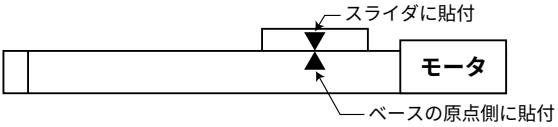
×１シート

目盛付マークシール×４　マークシール×４
（目盛は1mm刻みで10mm幅）

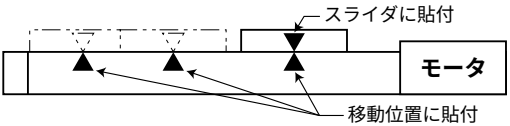
・台紙からはがして貼付してください。
注1. 裏面は粘着面になっています
2. 貼付前に被着面の油、汚れは除去してください
3. スライダの注意名板を避けて貼付してください

使 用 例

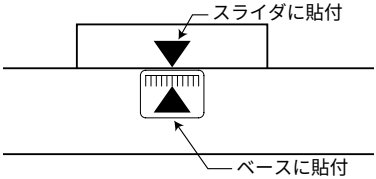
①アクチュエータの原点方向の目印として貼付



②移動位置の目印として貼付



③位置ズレチェックの目印として貼付



・原点で停止している状態で２つのシールを貼付してください。

管理番号：MJ3651-2A（2008年7月）

IAI
Quality and Innovation

株式会社アイエイアイ

本社・工場	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽416-4	TEL 054-364-5105 FAX 054-364-2589
東京営業所	〒105-0014	東京都港区芝3-24-7 芝 エクセージビルディング4F	TEL 03-5419-1601 FAX 03-3455-5707
大阪営業所	〒530-0002	大阪市北区曽根崎新地2-5-3 堂島TSSビル4F	TEL 06-6457-1171 FAX 06-6457-1185
名古屋営業所	〒460-0008	名古屋市中区栄5-28-12 名古屋若宮ビル 8F	TEL 052-269-2931 FAX 052-269-2933
仙台営業所	〒980-0802	宮城県仙台市青葉区二日町14-15 アミ・グランデ二日町4F	TEL 022-723-2031 FAX 022-723-2032
新潟営業所	〒940-0082	新潟県長岡市千歳3-5-17 センザイビル2F	TEL 0258-31-8320 FAX 0258-31-8321
宇都宮営業所	〒321-0953	栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル3F A	TEL 028-614-3651 FAX 028-614-3653
熊谷営業所	〒360-0847	埼玉県熊谷市籠原南1-312 あかりビル5F	TEL 048-530-6555 FAX 048-530-6556
茨城営業所	〒300-1207	茨城県牛久市ひたち野東5-3-2 ひたち野うしく池田ビル2F	TEL 029-830-8312 FAX 029-830-8313
多摩営業所	〒190-0023	東京都立川市柴崎町3-14-2BOSENビル2F	TEL 042-522-9881 FAX 042-522-9882
厚木営業所	〒243-0014	神奈川県厚木市旭町1-10-6 シャンロック石井ビル3F	TEL 046-226-7131 FAX 046-226-7133
長野営業所	〒390-0877	長野県松本市沢村2-15-23 昭和開発ビル2F	TEL 0263-37-5160 FAX 0263-37-5161
甲府営業所	〒400-0031	山梨県甲府市丸の内2-12-1 ミサトビル3F	TEL 055-230-2626 FAX 055-230-2636
静岡営業所	〒424-0103	静岡県静岡市清水区尾羽416-4	TEL 054-364-6293 FAX 054-364-2589
浜松営業所	〒430-7718	静岡県浜松市中区板屋町111-2 アクトタワー18F	TEL 053-459-1780 FAX 053-458-1318
豊田営業所	〒446-0056	愛知県安城市三河安城町1-9-2 第二東祥ビル3F	TEL 0566-71-1888 FAX 0566-71-1877
金沢営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念3-1-32 西清ビル A棟2F	TEL 076-234-3116 FAX 076-234-3107
京都営業所	〒612-8401	京都市伏見区深草下川原町22-11 市川ビル3F	TEL 075-646-0757 FAX 075-646-0758
兵庫営業所	〒673-0898	兵庫県明石市樽屋町8番34号 大同生命明石ビル8F	TEL 078-913-6333 FAX 078-913-6339
岡山営業所	〒700-0945	岡山県岡山市新保1105-1	TEL 086-801-3544 FAX 086-225-7781
広島営業所	〒730-0802	広島市中区本川町2-1-9 日宝本川町ビル5F	TEL 082-532-1750 FAX 082-532-1751
松山営業所	〒790-0905	愛媛県松山市樽味4-9-22 フォーレスト21 1F	TEL 089-986-8562 FAX 089-986-8563
福岡営業所	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3-13-21エアビルWING 7F	TEL 092-415-4466 FAX 092-415-4467
大分出張所	〒870-0823	大分県大分市東大道1-11-1 タンネンバウムⅢ 2F	TEL 097-543-7745 FAX 097-543-7746
熊本営業所	〒862-0954	熊本県熊本市神水1-38-33 幸山ビル1F	TEL 096-386-5210 FAX 096-386-5112

お問い合せ先

アイエイアイお客様センター エイト

（受付時間）月～金 8：00AM～8：00PM 土 9：00AM～5：00PM
（祝祭日、年末年始、春季、夏季の休業日を除く）

フリーコール 0800-888-0088

FAX：0800-888-0099 （通話料無料）

ホームページアドレス http://www.iai-robot.co.jp

IAI America, Inc.

Head Office 2690W 237th Street Torrance. CA90505
TEL (310) 891-6015 FAX (310) 891-0815
Chicago Office 1261 Hamilton Parkway Itasca, IL 60143
TEL (630) 467-9900 FAX (630) 467-9912
Atlanta Office 1220 E.Kenneston Circle, Marrietta, GA 30066
TEL (678) 354-9470 FAX (678) 354-9471

IAI Industrieroboter GmbH

Ober der Röth 4, D-65824 Schwalbach am Taunus, Germany
TEL 06196-88950 FAX 06196-889524

製品改良のため、記載内容の一部を予告なく変更することがあります。

Copyright © 2008.Apr. IAI Corporation. All rights reserved.

08.07.300 TF